https://mypage.fukanavi.com/rotary/

Fukagawa RotaryClub

R I 第 2510 地区第 1 グループ 深川ロータリークラブ

持続可能な
インパクトを
生み出そう

ゲ　ス　ト　卓　話
例　会　運　営　委　員　会

11月10日(火)

NO 3113 第 13 回例会



例　会　案　内

「10 月～ 11 月」例会案内

11月10日(火) 例会運営委員会担当例会
11月17日(火) クラブ奉仕委員会
11月24日(火) 国際奉仕（富士屋）
12月　1日(火) 例会運営委員会担当例会
12月　8日(火) クリスマス家族会

出　席　報　告

10月27日例会

総 会 員 数　27名
欠 席 者 数　9名　石川，井上，津田，吉居
　　武田，佐々木，清水，樋口，宮岸各会員
出　席　率　66，67％
前回メーキャップ　0名
前回修正出席率　59，26％

前例会幹事報告

清水幹事

■ 2510 地区より地区大会のお礼
■滝川ＲＣより例会案内訂正



会　長　報　告

木村 喜芳会長

本日は、情報雑誌広報委員会の例会です。伊東委員長宜しくお願い致します。

23 日の金曜日に桜山公園にて植樹に参加してきました。深川市を緑にする会の溝口会長はじめ、市長、旭川トヨペット、ライオンズクラブと一緒に桜の木 6 本を植樹しました。後ほど中西社会奉仕委員長より報告があるかと思います。

先日の移動例会、経済センターでの開催はいかがでしたでしょうか？　会場設営やお弁当、会場の大きさ、開催に係る経費など、様々な思いが皆様の中にあるかと思います。来月 11 月 17 日に再度経済センターで例会を開催しますので、その後のアンケートで、ご意見を賜りたいと考えておりますので宜しくお願い致します。

さて、私の先祖は、祖父曽祖父が和歌山出身です。今でも紀ノ川市で柿、ミカンを作っており、先日柿が届きました。そうしましたら、日本歯科医師会の雑誌 10 月号に、徳川家康の 10 番めの息子、徳川頼宜とミカンの話が掲載されておりましたので紹介させて頂きます。





伊東ＲＣ情報・雑誌・広報委員長卓話

今日はロータリーについて、お話ししたいと思います。

まず、ロータリーとは何かということですが、ロータリーは「人道的奉仕」「高い職業倫理」、そして「国際親善と平和の推進」を目的とした世界的な団体です。ロータリーを理解する一番の近道は、例会に参加し、「ロータリーの友」を読んだり、ホームページを見たり、先輩会員に話を聞いたりすることです。よく「ロータリーの活動はすべて例会から始まる」と言われます。

ロータリーの歴史は１９０５年、アメリカ・シカゴでポール・ハリスらによって創立されたところから始まります。現在では世界２００以上の国と地域に広がり、約１２０万人の会員が活動しています。日本では１９２０年に東京ロータリークラブが最初に誕生し、現在では約２，３００クラブ、約９万人の会員が所属しています。

ロータリーの組織は、クラブが基本単位です。そして地区や国際ロータリーが、それぞれのクラブ活動を支援しています。つまり主役はあくまでも各クラブであり、上部組織はその活動を支える役割を担っています。会員の選出にあたっては、その職業を代表する人物であり、社会的信用があること、例会に参加できること、人格や社会性に優れていること、そして奉仕活動への意欲があることなどが重視されます。

ロータリー会員になると、世界中のロータリークラブの例会に参加できるほか、さまざまな奉仕活動に関わることができます。一方で、会費の納入や例会への出席、委員会活動への参加などの責任も伴います。権利と義務の両方を大切にすることが解する一番の近道です。

また、ロータリアンとしての心得もあります。時間を守ること、欠席時にはきちんと連絡すること、ゲストを温かく迎えること、迅速に返事をすることなどです。さらに、「四つのテスト」を日々の判断基準として実践することが求められています。

ロータリーには二つの重要な奉仕理念があります。一つは「超我の奉仕」、つまり自分のことよりも他人や社会のために尽くす考え方です。

もう一つは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という職業奉仕の理念です。この二つがロータリー活動の根幹となっています。

ロータリーの目的は、知り合いを広め、そのつながりを奉仕の機会に変えること、高い職業倫理を実践すること、そして国際理解と平和に貢献することです。その実践の場として、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「青少年奉仕」の五大奉仕があります。

特に有名なのが「四つのテスト」です。「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」この四つを判断基準として行動することが、ロータリアンの大切な心構えとなっています。

例会は通常、点鐘から始まり、食事、会長挨拶、報告、卓話という流れで進行します。また、日本独自の慣例として「ニコニコボックス」があります。これは喜びごとや感謝の気持ちを寄付という形で表す制度です。

出席はロータリー会員の三大義務の一つです。やむを得ず欠席した場合でも、前後１４日以内に他クラブの例会へ参加することで「メークアップ」が可能です。

ロータリーでは地域社会から国際社会まで、幅広い奉仕活動を行っています。地域では植樹や講演会、施設支援などを行い、国際的には井戸や学校の建設、医療支援、ポリオ撲滅活動などにも取り組んでいます。

また、青少年育成のための交換留学や研修プログラムも実施しています。そして、ロータリー財団の使命は「世界でよいことをしよう」です。

最後に、ロータリーとは単なる奉仕団体ではありません。さまざまな職業や世代の仲間と出会い、ともに学び、ともに成長しながら社会に貢献していく組織です。私たち一人ひとりが奉仕の心を持ち、地域や世界のために行動することで、ロータリーの価値はさらに高まっていきます。これからも例会を大切にし、友情を深めながら、奉仕の理念を実践してまいりましょう。

深川ＲＣ 例会運営委員会
委員長 佐々木弘有
副委員長 轡田光章

会長 木村喜芳　会長エレクト 平瀬文男　副会長 森隆江
幹事 清水秀晃　副幹事 山腋康弘　会計 廣上晃士

深川ＲＣ
■例会場 ラ・ムーニュホテル深川
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号 プラザ深川３Ｆ TEL (0164)34-6228
■ URL http://mypage.fukanavi.com/rotary/ ■ Mail fukagawa-RC@club502.jp
■例会日 毎週火曜日
■第2510地区第1グループ